

2023年7月1日

WCRP日本委員会
人身取引防止
タスクフォース主催

宗教者として
いのちの尊厳について考える

～国際人権とSDGsの視点から
人身取引防止を目指して～

カトリック大阪大司教区シナピス
松浦・デ・ビスカルド篤子

シナピスは 平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援しています。

シナピスは大阪教区の社会福音化部門の事務局として活動を行っています。
司祭、修道者、信徒からなる運営委員会は、シナピスの活動における承認機関です。



わたしたち 一人ひとり

知る どんな問題があるのかを知り、伝える
学ぶ 問題は何によってもたらされるのかを学ぶ
行動する 実現可能なことから行動する



各地区の社会活動委員会への出席、そして日本カトリック中央協議会社会司教委員会各部(カリタス・ジャパン、
難民移住移動者委員会、部落差別人権委員会、正義と平和協議会)と連携し、日本におけるカトリック教会の方向性に沿って
活動を続けています。

**この一年も皆さまのおかげで、
たくさんの方が笑顔になりました。**

本国へ送還されると生命の危険のある難民、日本に家族がいる人、何十年も日本に暮らし、もう母国では生きるすべのない人びとが入国管理局に無期限収容されています。昨日も今日も、たくさんの手によって、難民移住者たちの人権が大切にされるように努力が続けられています。

長期収容の苦痛

1日19時間、2段ベッドが三台とスチールの机が一台しかない小部屋に、国籍の違う6人が無期限に監禁されます。



**「あなたを忘れない」
運動をする人**

面会へ行く



解放するよう
入管に訴える

たばこや切手、日用品などを
差し入れる

仮放免の苦悩

収容所から解放されても住民登録が
できないので保険に入らず、仕事もで
きず、家を提供するコストもできません。
最も支援が必要な時です



食べること

着ること

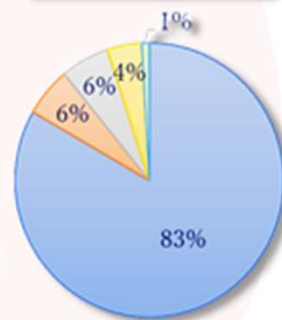


病気やけがの治療

寝る場所の提供

イラスト：Kakeo

ご寄付の内訳



- 食糧・物資・医療等を確保するための費用
- 裁判資料や物品、手紙などの郵送料
- 援助のための交通費
- 事務所内のコピー用紙や封筒等消耗品購入費
- 通訳・翻訳にかかる費用

再定住の道へ

日本で再び安心して暮らせる日が来るまで
ともに歩みます。

市民へ
アピールする



日本政府へ
署名運動をする

裁判で闘う
難民たちを支える

こんな状況ですが、頑張っています！



私はボン・セック・エンです。
元定住ベトナム難民です。
私はベトナムに帰国したかった。
でも私は中国系移民だったのでベトナム政府は私の登録を抹消してしまっ
た。ベトナムに送還できないことを日本政府は知
っているのに私を3年4ヶ月拘禁した。収容の
経験は言葉にできない。病気は放置され、私の
目の前でベトナムの友人がくも膜下出血で亡
くなった。9月に仮放免になったけど、在留資
格がないので生活ができない。日本で生きる
しかない。自立したい。

1975年後半	インドシナ難民の流入	カリタス大阪
1980年代	西南アジア、東南アジアからの男性労働者、 →「じゃばゆきさん」「農村花嫁」 留学生10万人計画	バハイ・ニ・マリア
1990年代	中南米から日系人、東南アジア・東アジアからの女性労働者 →旧カトリック神学院を開放して大規模なシェルターとして利用、最大時は南米出身者約40名、タイ人女性やフィリピン人女性 など十数名を同時に保護した 国際結婚や家族呼び寄せなど、進む定住化	国際協力委員会
2000年代	難民 アフガニスタン難民→多様な出身国の人びとに出会う 在留資格を失った元定住ベトナム難民	シナピス
2010年代	新日系フィリピン人（JFC） シリア難民	
2020年	コロナで変わる世の中 →シナピスホーム開設	
2021年	再びアフガニスタン難民支援 →シナピス関東アフガニスタン支援支部	

大規模な人身取引事件に遭遇

2014年秋 カトリック教会を中心とした
全国ネットワーク・JFC-Eを結成

同年12月 岐阜事件の被害者が自力で
大阪にたどり着く

(2014年12月～2015年2月まで3家族5名を保護)

2015年2月14日 摘発

(2015年2月～2016年春ごろまで5家族11名を保護)

主な支援活動

- ① 一時保護施設の提供
- ② 行政につなぎ、生活保護や母子手当などの支援を受けられるようにする
- ③ 学校に行けるようにする
- ④ 就職先・住居地探しなどの自立支援
- ⑤ 在留資格を短期から中長期へ変更
- ⑥ 日本語教室開設
- ⑦ 聖書の勉強会

岐阜事件を教訓として その後の活動に生かす

- ① 岐阜県女性相談センターから業務委託を受ける
- ② 2017年、人身取引をテーマにしたASEAN諸国行政官研修会に出席
- ③ フィリピン領事館や岐阜県警と現在も協力体制を保つ

→ 支援する側の視野と裾野が広がった

最も大切なことは・・・